

知道 CHIDO-KAIHO 会報

97

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 鬼澤邦夫
発行日 令和2年10月1日
通巻 第97号
メール chidokai_mito@chidokai.jp
H P www.chidokai.jp

目次	音楽劇「夜のピクニック」生徒への映像配信実施	2
	一高だより	4
	学年・地域等知道会	6
	水戸城大手門完成！	7

令和2年代議員会・講演会

本年の「知道会会員の集い」は新型コロナウイルスへの感染防止に配慮して懇親会を行わず、代議員会および講演会のみとし、令和2年11月28日（土）水戸京成ホテルにて開催いたします。

講演会につきましては、幹事学年の平成元年卒企画のものと総務委員会企画によるものの2講演を予定しております。

当日の日程は以下の通りです。

11:45～ 受付開始

12:15～13:00 代議員会

13:15～15:25 講演会

13:15～14:15 講演①

講師 北澤佑子氏（平17卒）

茨城県立守谷高校教諭

『南極せんせいのメッセージ』

14:25～15:25 講演②

講師 山口悟氏（平元卒）

医師

『トランスジェンダーと向き合って～性別適合手術の夜明け～』



講演会2019

参加費は無料です。参加希望者は知道会事務局あてにFAX（029-226-4157）またはメール（chidokai_mito@chidokai.jp）にてお申込みください。会場にて参加される場合にはマスク着用その他の感染防止対策にご協力をいただきます。

なお、講演者への感染リスクを考慮し、講演①については水戸一高教室において在校生希望者の聴

講の上で行い、ホテル会場にはオンラインで中継してご覧いただく形式をとります。講演②につきましても今後の感染動向によりましては同様にオンラインにての実施となる可能性がありますことをあらかじめご了承ください。

講演会は当日YouTubeを利用したリアルタイム配信も予定しております。URLなど詳しくは知道会ホームページに掲載いたします。

また、会場では「母校をたずねる 水戸一高編」小冊子のほか、知道会オリジナルグッズの販売も予定しております。

例年とは異なる形での開催になり誠に残念ではありますが、少しでも多くの会員の皆様にお楽しみいただけるよう、準備を進めて参ります。



代議員会2019

今年の「会員の集い」は11月28日（土）水戸京成ホテルで開催します

■講演者プロフィール



北澤 佑子 (きたざわ ゆうこ)

1986（昭和61）年7月生まれ。筑西市出身。2006年（平成18年）水戸一高卒。筑波大学大学院卒業。茨城県立古河第三高等学校を経て、2018年4月から守谷高校に勤務。守谷高校では、理科（生物）を担当。

3度のチャレンジの末、かねてからの本人の夢であった国立極地研究所の「教員南極派遣プログラム」に茨城県から初めて選出され、昨年11月から第61次南極地域観測隊に同行。今年の1月2日から2月1日の約1か月間、昭和基地に滞在した。滞在中には昭和基地と守谷高校、ミュージアムパーク茨城県自然博物館をテレビ会議システムでつないだ「南極授業」などを実施し、3月に帰国。帰国後は教員へ復帰の傍ら、観測隊活動の様子や南極の自然を紹介する「南極せんせい写真展」も開催し活動している。

■講演タイトル

南極せんせいのメッセージ

■講演者コメント・講演内容

この度は、おかげさまで第61次南極地域観測隊の同行者として、昨年11月から約4ヶ月間活動を全うすることができ、2020年3月20日に帰国いたしました。心より深く感謝申し上げます。

知道会の旗も一緒に南極へ行き、南極・昭和基地にて掲げさせていただきました。南極とはどんなところか、なぜ行くのか、隊員の日常と活動内容とは、私自身の最大のミッション「南極授業」とは、等々。私が南極で体験したこと、感じたこと、学んだことを「南極せんせいのメッセージ」と題しまして、お話いたします。

■講演者プロフィール



山口 悟 (やまぐち さとる)

1970年生まれ。1989年水戸一高卒。1997年福島県立医科大学医学部医学科卒。東京大学附属病院、日本赤十字社医療センター、東京女子医科大東医療センター、ヨーロッパがんセンター（イタリア・ミラノ）、埼玉医科大総合医療センター、ナグ

モクリニック東京院長を経て、2009年よりナグモクリニック名古屋院長。医学博士、日本形成外科学会専門医、日本乳癌学会乳腺専門医、東海ラジオラジオパーソナリティ。著書「Ciao！って言うてみたら」。映画「たゆたう（2016年）」医療監修、出演。映画「女になる（2017年）」出演。

■講演タイトル

トランスジェンダーと向き合って～性別適合手術の夜明け～

■講演概要

近年、セクシャルマイノリティ、LGBTの社会的認知度は高まっており、社会のどの場面でもその存在を無視することが許されない時代とな

りました。本講演では、その定義と彼らの社会における立場の歴史的変遷について概説いたします。また、LGBと異なり、Tに該当する「トランスジェンダー」の方々には時に身体治療が必要となりますが、実際の治療法やそこに至るまでのアプローチはまだあまり知られていません。俗に「性転換手術」と呼ばれる性別適合手術を含むトランスジェンダーに対する身体治療に黎明期より携わった当職の経験を元に、身体治療の具体的な内容を詳説いたします。最後に、この分野の抱える現在の問題点とこれからの展望についてお伝えします。本講演が皆様の、セクシャルマイノリティ、LGBTに関する理解の一助となれば、望外の喜びです。

音楽劇「夜のピクニック」生徒へ映像配信実施

11月1日より、全生徒に映像配信の視聴権利を配布予定

10月1日より水戸芸術館において再演が予定されております音楽劇「夜のピクニック」の生徒観劇会実現のため、5月から開始した募金につきましては、341名の皆様から240万円を超えるご支援をいただきました。心より御礼を申し上げます。

生徒観劇会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により公演回数、観客数ともに当初予定の半分と規模が大幅に縮小されたことや、4～6月の休校に伴う学校の授業スケジュールの都合などから、水戸芸術館および学校と調整の上、劇場においての観劇会ではなく映像配信により行うこととなりました。10月3日の舞台を収録編集した映像をインターネットを通じて視聴できる権利を、11月初旬に生徒に配布する予定です。劇場での観劇会は当初1、2年生のみを対象とし

ておりましたが、この配信映像視聴の権利は3年生を含めた全生徒に対してお渡しすることにしてあります。

支援者の皆様へ ゲネプロ見学会中止にと もなう限定DVD配布

なお、募金の開始にあたり、8月31日までに1万円以上のご支援を賜りました皆様をゲネプロ（通しリハーサル）見学にご招待する予定であるとお伝えして参りましたが、こちらにつきましても新型コロナウイルスの感染拡大傾向が第2波の到来以降まだ高い水準にあることや、劇場自体が今なお対策強化を求められていることなどから、対象となります多数の皆様を劇場にお招きしての実施が困難となりました。そこで今回は、ゲネプロ見学の代わりとして映像配信と同じ10月3日公演の舞台を収録し、これをDVD化したものを、対象の皆様にお送りすることにさせていただきます。このDVDは一般には販売の予定はないもので、

第44回代議員会報告

第69期（令和元年10月～令和2年9月）第44回代議員会が令和2年7月25日（土）14時から知道会館にて開催されました。今回は初めてZOOMを利用し江幡副会長、石井幹事はオンラインにて出席いただきました。審議等概要は以下の通りです。

- (1) 第69期中間事業報告が河野幹事長から報告されました。
- (2) 第69期中間収支報告および監査結果について関田財務委員長から

報告があり、承認されました。

- (3) 母校創立140周年記念事業経過について、附属中学校の設立に伴った電子黒板の追加費用を事務局整備費から支出した旨、河野幹事長と関田財務委員長より説明がありました。
- (4) 会費問題プロジェクトチームの検討結果の報告と、これを受けて6月から寄付専用口座を開設し、同時にインターネットバンキングの利用を開始した旨、河野幹事長より報告がありました。
- (5) 今期末の役員改選にあたり、指

名委員会を8月に開催することが報告されました。

- (6) その他、音楽劇「夜のピクニック」生徒観劇会募金について経過報告と、生徒観劇は公演を収録配信される映像を視聴する形になる予定であると説明がありました。また、知道会ホームページが刷新されたこと、毎日新聞首都圏版にて2月～3月に掲載された「母校をたずねる」の冊子が発行されること、新たに知道会グッズ販売を検討中であることについて、河野幹事長から報告がありました。

ゲネプロ見学対象となっております皆様のご住所あてに11月末ごろまでにお届けする予定です。

ゲネプロ見学を楽しみにされていた皆様には誠に申し訳ございませんが、皆様や公演スタッフなどへの感染拡大防止のためにも、何卒ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

生徒観劇会は形こそ映像配信に変わってしまいましたが、今回も皆様のご支援により、在校生が母校を舞台にした作品、卒業生の創作活動に触れ、母校の伝統理解をより深める機会を設けられましたことに、改めて御礼を申し上げます。

募金の収支等につきましては、代議員会においてご報告を申し上げます。

出演者による、水戸一高見学会実施

9月5日、音楽劇「夜のピクニック」出演者20名のうち15名が参加し、水戸一高見学会が実施されました。今回は、出演者の一般募集を行わず、



正門前 高村校長



ロマンス坂



校内で解説

前回公演とは異なる少ない人数での上演となります。

三高下バス停に到着した出演者を、河野幹事長と高村校長が出迎え、まず、ロマンス坂を登ります。「元の男子校と女子校の間にあって、両校の生徒がこの坂を通学することからこの名が付きまして」という河野幹事長の説明に、うなづくキャストたち。そのまま本城橋へと向かい、ここが「歩く会」ゴール地点であること、そし

て校内へ向かい、東海コース出発地点であるグラウンドを見学した後、通称地獄坂こと杉山坂へ。坂を駆け上がる人、実行委員役の出演者の「じゃあ、追い上げをやるのか」という声などが聞かれました。水戸芸術館演劇部門芸術監督の井上桂さんは、「実際に演じる対象の場所があ



グラウンド



地獄坂

り、感じられるのは役者にとってはとても助けになることです。幹事長や校長先生など、OBの皆さんの感想が聞けたことは、彼らの体の中に染み込んで、良い影響を与えることは間違いありません」と見学会の意義を評価しました。OBにとっても、実際に、グラウンド、坂、校門に立つと、当時のことが蘇ってくるのは「歩く会」を経験した者には等しい感情のようです。

この後、出演者は、バスで涸沼を通過して大洗へ向かい、雨が降る夕闇の中、大洗の区間を実際に列を作って歩いたそうです。「夜のピクニック」の雰囲気や少しでも感じ取ったであろう皆さんが作り出す舞台は、みずみずしい世界を表現してくれることが期待できます。

2020年「歩く会」は1日のみの実施

昨今の状況に鑑み、2020年歩く会は10月10日に、日帰り短縮コースでの実施を予定しています。昨年、台風の影響で中止となったため、在校生で「歩く会」を経験しているのは3年生のみであり、今年中止になると、来年には在校生に歩く会経験者がいなくなることになります。「繋げていくことが重要」との考えから、十分に対策を行った上で、団体歩行のみで行われます。変則的ではありますが、この経験が在校生にとって貴重な財産となることは、間違いのないことでしょう。

このページでは、この夏、公式戦等で活躍したすべての部活動および個人の紹介をします。

弓道部

コロナ禍により関東・総体とも中止になり、昇段審査もレポート提出と一手の動画提出となりました（3年を含めて9名が受審し、三段3名を含め全員合格）。

多くの茨高体連専門部と同じく弓道も救済県大会を8月1～3日に全チームを分散して行いました。本校では実施時期が遅かったので3年生は出場しませんでした。団体男子（2年）は4～6位と同中14中ながら大会規定で入賞しませんでした。

女子個人で2年の稲垣風香が8射7中で1～4位まで同中のところ2位に入賞しました。現在は1年生新入部員10名を仲間に加えて練習に取り組んでいます。OBの皆様のご支援を得て今後も継続して努めます。（顧問・石井孝典 昭58卒）

水泳部

県高体連水泳専門部では3年生にとっては最後の出場機会となる代替大会として、8月16日に「令和2年度県高等学校夏季水泳競技大会」（笠松運動公園屋内プール（山新スイミングアリーナ）を開催。県内58校290名が選手参加しました。

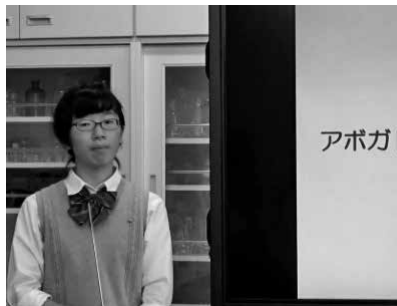
本校より個人種目出場の1・2年生男女計4名はいずれも入賞を果たし、残念ながら不参加となった3年生からバトンを引き継ぎました。

大会は感染症対策のため健康チェックシートの提出義務づけ、会場における対策行動、消毒などに万全の配慮のうえ運営されました。社会活動の自粛のなか思うような練習ができないところ、自己ベストタイムを大きく伸ばした生徒もいて知られざる努力を積んでいることが窺えた大会でした。

化学部

第44回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 研究発表出場

令和2年8月1日（土）～3日（月）に高知県で行われる予定だった「2020こうち総文」が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ネット上に「WEB SOUBUN」として、令和2年10月31日（土）まで



柳田 (35)

公開されています。

本校化学部の柳田有貴子(35)が参加予定でしたが、「WEB SOUBUN」のHP上から、研究発表動画「金属の酸化によるアボガドロ定数のずれの利用と評価」が閲覧できます。本来、全国の方で見せるはずの堂々とした発表の様子をぜひご覧ください。

サッカー部

インターハイの代替大会が、7月23・24日の二日間にわたり行われました。初日は、水戸地区合同（6－2：○）緑岡（2－2：△）勝田工業（3－0：○）、2日目は、勝田工業（1－0：○）海洋（9－0：○）水戸地区合同（1－2：●）という結果でした。

夏の強化試合、9月のリーグ戦を通じてチーム力の向上を図り、志半ばで引退した3年生の思いを胸に、9月末からスタートする高校サッカー選手権大会に臨みたいと思います。



放送部

第44回全国高等学校総合文化祭 放送部門ビデオメッセージ部門 優秀賞受賞

新型コロナウイルスの影響でインターネット上での開催となった第44回全国高等学校総合文化祭（2020こうち総文）において、放送部門ビデオメッセージ部門に出品した放送部の作品「ありがとう こどもや」が優秀賞を受賞しました。

この作品は、一軒の駄菓子屋の閉店までを追ったもので、駄菓子屋をめぐる人々の暖かい絆が描かれてい

ます。ビデオメッセージ部門には各県の代表96作品が出品され、8作品が優秀賞に選ばれ、放送部門での全国大会入賞は、2003年の第27回総文祭（福井総文）で朗読部門優秀賞を受賞した三枝万里子さん以来の快挙です。

多くの方々のご協力を得て作品を完成させることができ、入賞できたことは大きな喜びであり、部員・顧問一同改めて感謝を申し上げます。



駄菓子屋「こどもや」

軟式野球部

今年は新型コロナウイルスの影響で春、夏の大会が中止になってしまいました。7月下旬に開催された代替大会には出場するか迷いましたが、チームで話し合い、出場することに決めました。初戦は水戸啓明と雨の中での試合となりました。

エースの久保田（39）を中心にキャプテン野々下（34）、サード石井（38）、セカンド平野（32）、ライト朝倉（39）が堅い守備を見せ、攻撃でも東（31）、久保（33）がヒットを打つなど活躍を見せ、12－2の5回コールドで勝利することができました。

次の霞ヶ浦高との試合は負けてしまいましたが、最後に公式戦初勝利をあげて終われたことは自信になりました。3年間ありがとうございました。

硬式野球部

今年度はコロナ対応のため、夏季



茨城県高校野球大会が開催され、準決勝まで実施されました。

7月24日（金）の初戦は岩瀬日大に3-1で見事に勝利。続く8月1日（土）4回戦では、常総学院に勝利した多賀を相手に、最終回まで加点し粘るも、5-6で惜敗しました。

例年のように、全校応援はなく、甲子園もない。一見、いつもの夏と違うように思えますが、やっぱり夏の大会は、いつもと同じく、大舞台であり、最高でした。

今年のチームは非常にいいチーム

で、勝負所にも強かった。ただ、修羅場で少しひるんだ。それが、最後の一点差につながったのかもしれませんが。今年のチームで、「勝つ」文化を少しは作れたと思います。その文化をさらに、次の代に育ててもらいたい。

吹奏楽部

7月26日（日）、ひたちなか市文化会館小ホールにおいて、部員の家族対象にサマーコンサートを行いま

した。

15グループのアンサンブルおよび全体合奏3曲合わせて2時間30

※次ページに続く



来年4月 水戸一高が中高一貫教育校へ

令和3年4月、水戸一高に併設型の中学校が設置され、中高一貫教育校となります。これは、茨城県教育委員会が平成31年2月に策定した「県立高等学校改革プラン」の「実施プランI期（2020年度～2023年度）」によるものです。

このプランでは、中高一貫教育校を県内各地域に設置し、6年間の計画的・継続的な指導を行うことにより、豊かな人間性と起業家精神を兼ね備えた、地域のリーダーや世界へ飛び立つ「人財」を育成する、という考え方を掲げています。今年4月には、太田一高、鉾田一高、鹿島高校、竜ヶ崎一高、下館一高に併設型の中学校を設置、来年4月に水戸一高と土浦一高に併設型の中学校を設置するとともに勝田高校を中等教育学校に改編、再来年4月に水海道一高と下妻一高に併設型の中学校を設置することで、既存の日立一高（併設型）、小瀬高校（連携型）、並木中等教育学校、古河中等教育学校とあわせて計14校となり、公立の中高一貫教育校の数としては日本の都道府県で最多となります。

茨城県立水戸第一高等学校附属中学校

水戸一高に併設される中学校の校名は「茨城県立水戸第一高等学校附属中学校」と決定し、条例上は今年7月1日に設置されました。募集定員は2クラス80名（男女各40名）で、校舎や施設は水戸一高と共用になります。これに伴い、現在8クラス320名である水戸一高の募集定員は、令和3年度は7クラス280名、令和4・5年度は6クラス240名、附属中学校の生徒が高校生となる令和6年度からは4クラス160名（附属中学校からの内進生80名を含めると計6クラス240名）となります。現在でも高校入試の倍率は1.6倍程度と県内で一二を争う高さですが、今後はさらに狭き門になることが予想されます。

挑戦と失敗から学べ

さて、水戸一高附属中では、校是の「至誠一貫」「堅忍力行」、校章、校歌は水戸一高と共通ですが、キャッチコピーとして「挑戦と失敗から学べ」を掲げました。これは、いろいろなことに積極的に挑戦し、たとえ失敗したとしても下を向かずにもう一度挑戦するよ

うな勇気をもってほしい、という願いを込めています。

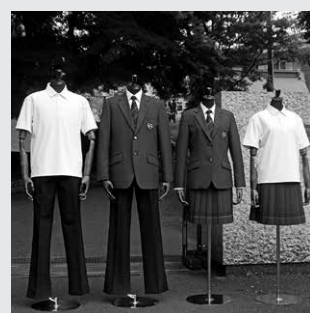
水戸一高附属中の教育活動ですが、まず授業は水戸一高と同じく60分授業を6コマ行います。小学校が45分授業であることを考えると生徒の負担は大きくなりますが、発展的な内容を織り交ぜたり、振り返りの時間を設けたりして授業を展開していきます。なお、中学校の生徒には一人一台端末（ChromeBook等）を貸与しますので、これを効果的に活用していきたいと考えています。

次に、学校行事ですが、学苑祭や野球応援等は中高一緒に行うことを考えています。また、歩く会については、中学生は1日目の団体歩行を夕方の中休止まで参加する方向で検討しています。一方中学校独自の行事として、2年生で国内研修旅行、3年生で海外研修旅行を行う予定です。

部活動については、中高一貫校ならではの形として、体験型選択制を導入します。中学1年から2年にかけて高校にある部活動を複数体験し、自分の特性などを見極めた上で1つを選択、3年夏から本格的に活動し、高校入学後に即戦力として活躍することを目指します。ただし、吹奏楽部は中学1年から高校生と一緒に活動する予定です。

中学生に制服を導入

なお、中学校では給食が導入されます。提供方法は現在県教育委員会と協議中で、方法決定後に県教育委員会が業者を選定することになります。また、中学生は制服を導入することとなり、デザインが決定しました。高校ではこれまで同様私服ですので、3年間のみの着用となります。



附属中学校の開校に伴い、水戸一高は大きな変革期を迎えます。年齢層が広くなることによる活性化が期待される一方、高校の定員が減ることによる部活動等への影響も懸念されます。県内随一の伝統校として、将来日本や世界を背負って立つような生徒を育成できるよう一丸となって指導して参りますので、卒業生の皆様には一層のご支援をよろしくお願いいたします。

水戸一高附属中教頭 柴崎孝浩

※前ページから

分ものボリュームに。アンサンブルでは、各グループが視覚的にも楽しめるようにと、衣装などにも工夫しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月の第44回定期演奏会や8月の茨城県吹奏楽コンクールが中止となり、私たちの発表の場が失われていただに、家族への日ごろの感謝の気持ちを込めたコンサートを行うことができて本当に良かった。

生物同好会部 第44回全国高等学校総合文化祭参加

遠藤翔人(32)が茨城県代表として「線虫の連合学習における記憶の書き換えと行動の関連性に関する研究」で第44回総文祭の生物部門に参加しました。

当初は高知で開催される予定でしたが、コロナウィルスの影響により、ウェブ開催となり、ホームページ上に論文と動画によるプレゼンテーションがアップされました。その後の審査員による採点も18点/20点となり、高評価を得ることができました。

テニス部 水戸地区夏季テニス大会 男子シングルス優勝

8月1、8、10日に水戸地区夏季テニス大会が行われ、エントリー数210名のトーナメント戦を勝ち抜き、第4シードの後藤魁士(27組)が男子シングルス優勝を果たしました。

また、後藤のほか3名が8位、10位、11位と健闘し、茨城県テニス協会主催の少年少女テニス大会への出場権及び新人戦個人シングルのシード権を獲得しました。新人戦での個人・団体において、さらなる活躍を期待したい。

国際科学技術コンテスト 文部科学大臣特別賞

第14回科学地理オリンピック日本選手権で金メダル(全国14名)を受賞した田隅響介(35)は、8月上旬にトルコのイスタンブールで開催する第17回国際地理オリンピックに向けての代表最終選考に臨む予定でした。

しかし、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響でイスタンブールの大会自体が1年延期されたた

め、残念ながら選抜試験も中止となっていました。同様に、今年中に開かれるはずだった第51回国際物理オリンピックや第14回国際地学オリンピック、国際学生科学技術フェア2020などの各大会も相次いで中止または延期となりました。

そのため、活躍の機会を逸したこれらの生徒の努力と成果に対して文部科学大臣特別賞が授与されることになり、田隅もその授与対象者として発表されました。

バスケットボール部 茨城県夏季バスケットボール大会水戸B地区大会 男子特別出場、女子第1位

8月1日から9日の2週にわたり、茨城県夏季バスケットボール大会水戸B地区大会が行われました。上位2校に10月のウィンターカップ県最終予選出場権が与えられることとなったこの大会に、男女ともに参加。

新人大会ベスト9のため特別出場となった男子は茨城東に勝利、3年生の残る水戸工業には敗れたものの、今後につながる戦いを見せました。女子は笠間、第1シードの緑岡を破り、地区1位で県大会出場を決めました。

春の公式戦が不開催となる中、6月末まで協力してくれた3年生をはじめ周囲の方々への感謝を胸に、県最終予選で全力を発揮したい。



男子



女子

知道会に25万円寄付させて頂きました

昭和39年卒業生同窓会
ありがとう会

前回の知道会報96号で報告させて頂きましたとおり、私たちありがとう会は今年の1月2日水戸京成ホテルで卒業55周年記念同窓会を行いました。

その折、5年毎に発行している記念誌と共に、知道会への寄付を募った結果、149名の同窓生から協力を得ることが出来、去る8月27日(木)、ありがとう会の栗原博之会長と白石直之副会長が鬼澤邦夫知道会長にお会いし、寄付金の贈呈をさせて頂きました。

些少ではありますが、在校生の士気高揚資金として活用して頂ければ幸いです。

記・小野邦夫



知道会のホームページがリニューアルされました

みなさまお気づきでしたでしょうか。7月から知道会のHPが新しくなっています。

PC画面からばかりではなく、スマートフォンからも綺麗に見やすくなりました。住所や氏名などの会員情報の変更について、ホームページから変更申請することができま。ご要望の多かった問い合わせフォームも使い勝手が良くなりました。その他、Q&Aや資料館などの情報、卒業生紹介、メディア掲載のお知らせなど、盛りだくさんの内容になっています。今後、オリジナルグッズの販売など、さらに内容を充実させていく予定です。学年同窓会や部活動OB会などのホームページリンクも増やしていきたいと考えておりますので、リンク掲載をご希望の方はchidokai_mito@chidokai.jpまでご連絡をお願い致します。

残念ながら今年は各種の行事が中止となってしまっておりますが、新しく見やすくなったHPをぜひご利用いただき、知道会からの情報発信をより増やしていきたいと思っております。

母校支援のために寄付をお願い致します

今回、「会員の集い」参加費の払込用紙に代わり(今年の代議員会・

講演会は参加無料です)、母校支援のための寄付用払込用紙を同封させて頂きました。

知道会では母校への支援をより充実させるため、寄付金を随時受け付けております。

お預かりしました寄付金は、知道会が行っている部活動遠征費や歩く会トランシーバー費用、卒業記念品や褒賞などの通常の母校支援に加えて、在校生のより良い学習・活動環境を整備したりするために、学校と協議をしながら役立てていくものです。実施した支援内容は代議員会において報告いたします。

母校や知道会の今後を担う在校生への一層の支援のため、引き続きみなさまのご協力をお願い申し上げます。

書籍紹介

ライト&タウト たをやかに 一建築家が視る日本文化の輪郭一

西川新八郎(昭32卒) 著
中央公論事業出版
3000円+税



日本文化の神髄に迫ろうとした二人の外国人建築家の言動を通して、同じ建築家である著者自身が、生きた時間を総括するように語る日本文化の“たをやかさ”。

吉田茂の謎

山本賢一(昭38卒) 著
新風書房



「戦後政治の基盤を構築した」と評される吉田について、定説を整理するとともに、時にその行動に疑問を呈しながら筆者の視点でまとめた吉田茂評。

「母校をたずねる」冊子 を制作しました



本年2月から4月にかけて毎日新聞 東日本版にて連載された「母校をたずねる 水戸一高編」をまとめた冊子を制作しました。恩田陸さん、柿木厚司さん、妹島和世さん、山口那津男さん、加藤修一さん、神原秀記さん、須田将啓さん、北澤佑子さんの8名(登場順)の方々が水戸一高時代の思い出について語るインタビュー。ウェブ版向けに再編集された記事をもとに制作しており、紙面よりも内容を充実しています。2,000部制作のうち1,000部を水戸一高に寄贈し在校生にも配布いたしました。

会員の皆様には1部500円にて販売いたします。お申し込み方法など詳しくは知道会ホームページをご覧ください。

水戸城大手門完成！ 二の丸角櫓もまもなく完成

水戸市が進めている水戸城歴史的建造物整備事業。令和2(2020)年2月に水戸城大手門の復元が完成しました。二の丸角櫓と土塀の整備も佳境を迎えており、来年の梅まつりに合わせて、供用開始を予定しております。

周辺の景観整備やお休み処整備も行い、水戸城大手門や二の丸角櫓の復元整備によって、弘道館に来場される方が、大手門・薬医門方面にも足を延ばし、水戸城の歴史と風景とをより一層楽しめるようになりました。

コロナ渦においても、多くの市民や観光客の方々に足を運んでいただいております。ぜひ知道会の皆様方も、水戸一高を訪問しつつ、周辺の魅力を再発見してみてください！

歴史的建造物整備に至るまで

近世において水戸は、関東でも有数の城下町として発展しました。しかし、明治維新後、水戸城は明治4(1871)年の廃藩置県により廃城となり、明治5(1872)年の不審火により御殿などが焼失。大手門は老朽化により取り壊され、残った三階櫓も昭和20(1945)年の水戸空襲により焼失。水戸城の建造物は、弘道館の一部と薬医門を残し失われてしまいました。

そのような中、平成21(2009)年に茨城県坂東市の万蔵院で、水戸城のものと伝わる扉が発見されたことをきっかけに、水戸城のお膝元である水戸市三の丸地区の有志が住民組織を設立し、大手門復元の基金を募り、その浄財を水戸市へ寄付をしたことが、整備への第一歩となりました。

水戸市は、住民の思いを受け継ぎ、古絵図や古写真をはじめとする資史料の調査や、現地の発掘調査を行い、復元整備に足る根拠が揃えられたことから、平成26(2014)年に市の総合計画に位置付け、本格的に復元整備に着手し、今日に至っています。

水戸城大手門

水戸城の正門にあたる最も格式の高い門であり、弘道館の正門と向かい合う場所に建っていました。土塁に取り付く城門としては、国内でも屈指の規模で、建築面積約158.2㎡、高さ約13.3m、桁行約17.1m、梁間約5.7mの木



完成した水戸城大手門

造2階建ての城門であり、大手門の四隅には土塁との隙間を埋めるための練塀(瓦と粘土を交互に積み上げて作った塀。瓦塀とも言います。)が取りついていたことが大きな特徴です。

二の丸角櫓

二の丸の南西の角に建つ建築高約9.7mの二階建ての櫓(二階櫓)です。水戸城内には同様の二階櫓が4棟存在(下の丸に1棟、本丸に2棟、二の丸に1棟)していました。これらの水戸城の櫓は、城下町側(南側)に偏って設置されていることから、城下から武士や町人が水戸城を見上げた時に、城郭景観を効果的に印象付けられるよう、城下町からの眺望を計算して作られたと考えられています。今般復元した二の丸角櫓は、4棟

のうち最もJR水戸駅に近く、大手門から続く土塀と相まって、城郭景観を市内外の方に印象づけられる効果が期待されます。



水戸駅北口から望む
二の丸角櫓

芳名帳・芳名板に御名前を残しませんか？

大手門と二の丸角櫓の復元整備に合わせ、二の丸角櫓の供用開始まで寄付金の募集が続けております。御寄付いただきますと芳名帳に御名前を掲載して永年保存してまいります。さらに、高額御寄付者(10万円以上)につきましては、二の丸角櫓内に設置する芳名板にも御名前を掲載いたします。

知道会の皆様には、まず、年会費をお支払いいただき、さらに、本事業に御協力を頂ける方は水戸市教育委員会歴史文化財課(029-306-8132)までお尋ねくださいますようお願いいたします。水戸市教育委員会歴史文化財課長 白石嘉亮(昭61卒)

総務委員会

令和2年会員の集い企画・実施にあたり、総務委員会を8月1日(土)17:00より知道会館にて開催しました。会員の集いについては、今般のコロナ禍の状況により会員の集いについての懇親会を中止としたことから、実行委員会についても各幹事学年を招集せず、講演会の企画のみを平元年卒に依頼し、それ以外は総務委員会中心の企画となりました。コロナ禍においての対策を講じながらも、少しでも会員皆様の興味を引けるような集いをとの思いで計画をしております。会員の集いの講演など詳細につきましては本号の記事をご覧ください。また、随時知道会ホームページに情報を掲載して参ります。

親睦委員会

9月11日現在、コロナ禍で親睦委員会としての活動ができておりません。
 今後は、新しい生活様式を取り入れて親睦委員会の活動内容を検討していく必要があると思っております。親睦委員会は、今までもこれからも幅広い年齢層の会員が親睦を深めら

れるような活動をしたいと思っております。
 会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

財務委員会

母校支援のための寄付をお願いいたします！

今回の知道会報には、「知道会年会費」の振込用紙とは別に「母校支援のための寄付」にかかる振込用紙を封入させていただきました。

知道会年会費においても母校への助成事業を行っておりますが、さらなる母校支援のために今回「母校支援の寄付金」を募集させていただきます。寄付金額は任意となっております。母校の発展と将来ある在校生たちの応援のために知道会年会費振込とともに、ぜひ「母校支援の寄付」にもご協力をお願いいたします。

また、財務委員会では知道会年会費納入について銀行等預金口座振替をお勧めしております。口座振替での年会費納入をご希望の方には、事務局より振替依頼書を送付しておりますのでご連絡ください。

物 故 者 (R 2. 4 ~ R 2. 8 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

歴代校長 奥村 義栄	昭23中 矢口(桧山)秀男	昭28高 押野 昌夫	昭36高 小川 幹生
旧職員 大賀 力男	昭24中 国下(梶間)隆郎	昭28高 高丸 重貞	昭36高 鈴木 英夫
旧職員 奥村 義栄	昭23併 高丸 重貞	昭29高 小森 誠	昭36高 内田 宏司
旧職員 高梨 謙	昭24高 小笠原長房	昭29高 豊田 忠一	昭37高 青木 寛人
旧職員 高橋 正利	昭24高 外池宇一郎	昭29高 小宅 衛	昭38高 斉藤(井上)志揮子
旧職員 高橋 忠郎	昭25高 稲野辺千喜	昭29高 小口 英世	昭38高 木田 勝
旧職員 森 常雄	昭25高 川邊 敬治	昭29高 小谷野 譲	昭40高 渡辺 保治
昭17中 久野 達也	昭25高 入野彦一郎	昭29高 荒木(吉森)啓輔	昭40高 中山 雅司
昭18中 山田 正	昭25高 仁科 義男	昭29高 高橋 知福	昭40高 寺門 健一
昭18中 齋藤 宏	昭25高 吉村 卓也	昭30高 粕谷 宏幸	昭40高 井上 豊
昭19中 植田 英	昭26高 大友 朝男	昭30高 軍司 礼三	昭41高 桧山 富雄
昭19中 岡本久四郎	昭26高 岩井 代三	昭30高 市村 武	昭41高 橋本(根本)宏
昭19中 川上 英明	昭26高 川原井勝一	昭32高 山本 輝男	昭43高 茂垣 慶一
昭19中 川又 昂	昭26高 高橋(飛田)康之	昭32高 小菅 満男	昭44高 千葉 倫夫
昭19中 川村 直也	昭26高 渡辺 正春	昭32高 鶴間栄一郎	昭44高 滑川 順
昭20中⑤小野崎 操	昭27高 大和田道夫	昭32高 菊地 敏行	昭45高 弓野 茂
昭20中⑤鈴木 恒道	昭27高 小泉寛次郎	昭33高 川田 昌	昭48高 相澤 收人
昭20中⑤飯田 昭治	昭27高 瀬谷 朝男	昭33高 中村 芳明	昭49高 坂本 登
昭20中④神長 道昌	昭27高 菊地 陽三	昭33高 関 孝	昭49高 益子 博志
昭20中④細谷 精一	昭27高 中村 和彦	昭34高 益子(菅谷)稔夫	昭50高 沢畠 隆一
昭20中④宮島 肇	昭28高 所 雅慶	昭34高 小林 一成	昭53高 竹内 研一
昭21中 小沼 彬男	昭28高 中川 栄	昭34高 根本比佐司	昭55高 石川 直史
昭23中 小笠原長房	昭28高 深谷 稔	昭35高 安掛 孝信	昭61高 飯田 豪
昭23中 齋藤 昇三	昭28高 高橋 明次	昭35高 畠山 邦紀	昭63高 木村(鈴木)かやの
昭23中 外池宇一郎	昭28高 潮田陸奥男	昭35高 小関 友彦	平 6 高 徳永 英輔

【事務局から】

世界に蔓延しつつあるコロナ禍のため、今年はほとんどの行事が中止になったり、形を変えての実施となったり、あらゆる場面で「例年通り」ということが出来なくなっています。中でも、なんとかしてこの状況を乗り切ろうという努力には頭が下がります。

次の段階として「コロナウイルスとの共存」ということになってくるのかもしれませんが、一日も早く日常と呼べる日が戻ってくるよう祈るばかりです。

学校基本データ

学 校 創 立 1878年(明治11年)10月2日

令 和 2 年 創立142年

同窓会員数 38,744名(令和2年9月現在)

住所判明者 21,107名(令和2年9月現在)

在籍生徒数 965名(男子526名 女子439名)
 (令和2年9月現在)